

| | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|-----|-----|------|-------|----|------|----|-----|-----|
| 開講年次・時期 | 2年前期 | 授業回数 | 30回 | 時間数 | 60時間 | 必修・選択 | 選択 | 授業形態 | 講義 | 単位数 | 4単位 |
|---------|------|------|-----|-----|------|-------|----|------|----|-----|-----|

| | | | | | |
|----------------|--|-----|---------|------|-------|
| 科目コード | NC220 | 科目名 | 介護の基本Ⅱb | 担当者名 | 戸来 睦雄 |
| 授業の概要 | 介護における安全の確保のための基礎的な知識や事故への対応、リスクマネジメントの必要性・リスクを回避するための方法を理解する。併せて、多職種協働による介護を実践するために、多職種が連携する必要性や役割と機能、保健・医療・福祉の専門性を学び、多職種協働の実際について理解する。 | | | | |
| 科目の到達目標 | ①介護を必要とする人の理解ができる。 ②介護を必要とする人の生活を支えるしくみを理解できる。 ③介護における協働する多職種の機能と役割を理解できる。 ④介護における安全の確保とリスクマネジメントを理解できる。 | | | | |
| DPの観点 | ⑥専門知識・技能(40%) ⑦思考力(30%) ⑨主体性(30%) | | | | |
| 授業時間外学修(予習・復習) | 授業の予習・復習各2時間を行うこと。 単元ごとに小テストを実施するので、十分に復習をしておくこと。 | | | | |
| フィードバックの方法 | コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わりまたは次の授業で詳しくフィードバックする。 | | | | |
| 単位認定の要件 | 30回の授業終了後に行う期末試験の成績と、授業中の学習意欲を単位認定要件とする。 | | | | |
| 評価の方法・割合(%) | 期末試験(60%)、勉学意欲及び学習態度(20%)、小テスト・提出物(20%) | | | | |
| 履修上の注意事項 | 介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。 | | | | |

| 回数 | 予定 | 実施 | テーマ・内容 | 観点 | 方法 |
|------|----|----|-------------------------------|-----|--------------|
| 1 | | | 授業概要の説明、フォーマル・インフォーマルサービス | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 2 | | | 自助、互助、共助、公助について | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 3 | | | 地域包括ケアシステム | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 4 | | | 介護保険制度の概要 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 5 | | | 介護保険サービスについて | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 6 | | | 介護保険サービスについて(資料作成①) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 7 | | | 介護保険サービスについて(資料作成②) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 8 | | | 介護保険サービスについて(発表) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 9 | | | 障害福祉サービスの概要 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 10 | | | 介護給付費・訓練等給付費の対象サービス | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 11 | | | 地域支援事業について | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 12 | | | 障害福祉サービスについて(資料作成①) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 13 | | | 障害福祉サービスについて(資料作成②) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 14 | | | 障害福祉サービスについて(発表) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 15 | | | 地域づくりコーディネーター① | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 16 | | | 地域づくりコーディネーター② | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 17 | | | 介護福祉士とリスクマネジメント | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 18 | | | 身体拘束体験 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 19 | | | 危険箇所を探してマップにまとめる(学内調査) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 20 | | | 危険箇所を探してマップにまとめる(資料作成) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 21 | | | 危険箇所マップ(発表) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 22 | | | 事故防止のための対策 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 23 | | | 災害発生時の対応について① | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 24 | | | 災害発生時の対応について② | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 25 | | | 介護福祉職に必要な感染症の知識 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 26 | | | 手洗い、標準予防策について | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 27 | | | 感染症を疑う症状、発生時の対応 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 28 | | | 個別の感染症対策 | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 29 | | | 薬剤耐性の知識、安全な薬物療法について | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 30 | | | これまで学習した内容の振り返りを行う(国家試験対策を含む) | ⑥⑦⑨ | コミュニケーションカード |
| 期末試験 | | | これまでに学習した内容の振り返りを行う | | |

| | |
|---------------|--|
| 使用テキスト | 『最新・介護福祉士養成講座』第4巻「介護の基本Ⅱ 第2版」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 |
| 参考文献 参考URL | 『イラストで見る 介護事故事例集』公益財団法人介護労働安定センター |
| 備考 | 進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。 |

| | |
|-------|--|
| DPの観点 | ①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力 |
|-------|--|

| | |
|---------|--|
| 授業の自己評価 | |
|---------|--|